

市では、すべての女性が輝いて活躍しやすい環境づくりを推進するため、身近なモデルとなる女性や女性の活躍を応援している事業所・団体を表彰する「つばめ輝く女性表彰」を毎年行っています。今年度の受賞者と受賞理由を紹介します。



### 切り文字屋 オッケイ株式会社

休暇制度の整備やテレワークの導入を行い、社員が仕事と家庭の両方で活躍できる職場づくりに力を入れています。休暇の取得率を向上させるため、「休んでも他の人に任せられる」仕組みづくりも行っています。



### 公益社団法人 燕市シルバー人材センター

女性を対象とした入会説明会の開催など、女性がのびのびと働ける環境づくりに力を入れています。また、男女を問わず参加できるシルバー世代のファッションショー「ツバコレ」を開催するなど、男女が共に活躍できる場を提供しています。



### たけだ ちえこ 武田 千恵子さん

1997年から現在までの24年間、シルバー人材センターの会員として主に障子・襖張りの仕事に従事。講習会の講師を務めるなど、後継者育成にも尽力。充実した日々を送る武田さんの姿が、他の女性会員の理想や目標となっています。



近年、テレワークやフレックス制の導入など「働き方」の多様化が急速に進みました。従来の形式に縛られない勤務形態が今後さらに拡大していくことが予想されます。また、会社に「働きやすさ」を求める傾向が高まり、福利厚生や休暇の取りやすさなど、生活と仕事の調和が従業員の定着率や満足度に大きく影響するとも言われています。

どの地域でも人材不足が深刻化する中、会社を選ぶ際に「働きやすい」環境を重視するケースが増えていることは事実です。新たな労働力の確保や従業員の帰属意識の向上につながるためにも、今後は各企業によるさらなる積極的な職場環境の整備が必須となるでしょう。

市では、誰もが安心して継続的に働くことのできる職場環境づくりの整備をするための補助金や従業員の子育てを応援する企業の認定制度を用意しています。より良い環境づくりのために、ぜひ一度ご相談ください。



燕市 地域振興課  
課長 本間 聖規  
ほんま まさのり

## 制度紹介

問合せ  
地域振興課 協働推進係  
☎ 0256・77・8361

### みんなが活躍できる 職場環境づくり推進補助金



中小企業が行う、組織のワーク・ライフ・バランス、女性活躍またはダイバーシティの推進を目的とした職場環境改善の取り組みに要した費用の一部を補助します。

#### 【補助対象事業】

- 社内・社外研修 □ 就業規則の変更
- 外部専門家によるコンサルティングの導入 など

※整備費や購入費などは対象となりません

#### 【対象経費】

- 講師謝金 □ 研修参加費 □ 委託料 □ 相談料 など
- ・「つばめ子育て応援企業（認定予定含む）」なら、対象経費の3分の2以内、上限20万円まで補助

・それ以外の企業は対象経費の2分の1以内、上限10万円まで

#### 【補助対象者】

燕市内で1年以上事業を営み、常時雇用労働者が2人以上の中小企業者

#### 【申請期間】

12月24日(金)まで

※期間中は随時受付。ただし、予算額に達し次第受付を締め切ります。

※事業実施前に交付申請をする必要がありますので事前にご相談ください。

#### ※つばめ子育て応援企業認定要件

新潟県の「ハッピー・パートナー企業」に登録し「子育て応援プラス」または「イクメン応援プラス」の上乗せ認定を受けていること

- つばめ子育て応援2つ星企業：「子育て応援プラス」認定を受けた企業
- つばめ子育て応援3つ星企業：「イクメン応援プラス」認定を受けた企業

### つばめ子育て 応援企業認定制度



仕事と子育てが両立できる職場環境づくりに積極的に取り組む企業を認定します。現在19事業所が認定されています。



#### ▶ 男性の育児休業取得促進奨励金

つばめ子育て応援企業に勤務する男性従業員が、5日以上の育児休業を取得した場合に、事業主と取得者に奨励金を交付します。現在までに4事業所4人に交付しました。

対象	育児休業取得日数	交付額	年度内交付上限額
2つ星企業	5日以上	7万円	7万円
3つ星企業	5日～13日	7万円	15万円
	14日以上	15万円	
男性従業員(市内在住)	5日以上	5万円	5万円

※令和3年度から、市外在住の従業員が取得した場合でも、事業主には奨励金を交付できる制度に改めました。

予告

### 30歳までに考えるこれからの生き方 ～マイキャリア×ライフプランセミナー～

市内で働く若手社員のみなさん向けのセミナーを開催します！

■時期 2月頃(予定)

■内容 これからの働き方・仕事と家庭の両立などについて考えるワークショップ、先輩パパママの体験談など

※詳しくは今後の広報つばめなどでお知らせします。

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて  
ワーク・ライフ・バランスといっても、単に「仕事」と「仕事以外の生活」の時間を均等にするという意味ではありません。仕事と生活のバランスをどのように望むかは人それぞれで異なります。

その目指すところは、「やりがい」や「充実感」を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方で、家庭や地域生活、個人の自己啓発など、さまざまな活動を自らが希望するバランスで展開でき、多様な生き方を選択・実現できるようにすることです。

ワーク・ライフ・バランスは、働く一人ひとりが意識して取り組むべきものです。企業側の働き方に関する制度の整備や勤務管理体制、働きやすい職場風土がないことには実現が難しくもあります。

「仕事と生活を切り離して考えるのではなく、相互に良い影響を与え合うものとして、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指す」まずはそのように意識することから始めてみませんか。